

学校教育目標 主体的な学び、豊かなまごころ、健やかな体を持ち、地域とつながりよりよい社会と未来の創り手となってたくましく生きる児童を育成する。



【学校経営理念及び経営方針】目指す学校像

「まごころふれあう城山中央小学校」ー児童が仲間と楽しく学び、居がいを感じる学校づくりー

- | | | |
|---|------------------------|--|
| 1 児童が仲間と楽しく学び、居がいを感じる学校づくり
(1) 児童が自ら考え活動する主体的な学び、協働して学びに向かう集団づくり | (2) 考えや理由を明確にできる思考力等育成 | (3) 規範意識、思いやりや自然愛護等のまごころ育成、健康体力の向上 |
| 2 教職員が児童とふれあい、教え育てる喜びを感じる学校づくり | (1) チームとしての学校力向上 | (2) 働き方改革継続 |
| 3 保護者や地域住民から学校の取組に信頼が寄せられる学校づくり | (1) 校風継承と発展 | (2) 地域の教育力を生かした特色ある教育活動の充実 (3) 小中一貫教育推進、学校園内各小・中学校連携 |

〔城山地域学校園教育ビジョン・スローガン〕
ともに学び合う城山っ子を育む地域学校園
みんなで育てよう！自分を愛し、仲間を愛し、地域を愛する城山っ子

目指す児童像

進んで勉強する子ども

か し こ く (知)

ぐんぐん学習

思いやりのある子ども

喜んで働く子ども

な か よ く (徳)

豊かな心づくり

健康で明るい子ども

た く ま し く (体)

すくすく体づくり

- 基礎基本の確実な定着
 - 個別の教育的支援の充実
 - 学業指導の充実
 - 家庭学習の習慣化
 - 強化週間、漢字計算検定の実施
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - 宇都宮モデル「はっきりしっかきりすっかきり」を取り入れた授業展開
 - 思考を深めるコーディネート
 - 学力調査等の活用
 - 習熟度別学習やかがやきルーム活用
- 家庭・地域との連携・協力
 - ボランティアの学習活動支援
 - 「家庭学習のしかた」共通理解
 - 魅力協との連携による校外活動



- 基本的生活習慣『城央小のよい子』
 - 日常的な指導「あいさつ運動」
 - 適切な言葉遣いと返事の徹底
- 規範意識の育成
- 安全 ※体3項記載
- いじめ・不登校への対応
 - アンケートや教育相談の児童理解
 - 児童に関する情報の共有化
- 家庭地域、関係機関との連携協力
 - 授業参観や懇談、学校公開
 - さくら連絡網の活用
 - 登下校指導等



- 健康の保持増進
 - 基本的生活習慣、感染症拡大防止等（正しい姿勢、口腔衛生）
 - 養護教諭や学校栄養士と連携した保健、食育指導
- 体力の向上
 - 水泳、鉄棒、持久走、縄跳び
 - がんばりカードの有効活用
 - 教材教具の開発、運動量確保した教科体育や体育的行事の充実
 - 元気っ子健康体力チェック結果活用やミニマムの目標の意識化
 - 休み時間の外遊び等の活用
- 安全についての意識の向上
 - 交通安全教室と登下校指導
 - 避難訓練の実施と防災教育充実
 - 地域連携の見守り体制充実



GIGAスクール構想の推進 ・朝学や授業、家庭学習でのA Iドリル等の有効活用 ・オンライン授業 ・家庭連絡 等

まごころ教育（主体性と豊かな心の育成）の主な取組

- 自己有用感や帰属意識を高める受容的な雰囲気醸成と学業指導を含む規範意識育成を基盤とした学級経営
- 縦割り班（まごころ班）活動の活性化（日常の清掃、まごころ清掃、みんなで遊ぶ日等）
- 緑の少年団活動とまごころ広場活用（SDGs意識付けの取組含む）



本校では、昭和50年代から児童の主体性と豊かな心を育むことを目的とした心の教育「まごころ教育」を推進するとともに、同時期に敷地内斜面を保護者や地域住民が整備し、「まごころ広場」と名付けた里山を設置しており、「まごころ」が学校経営及び教育活動等の重要語句になっている。



☆460愉快だプロジェクト ・探究心をかき立てる体験活動 ・思いやり育む高齢者等との交流 ・城山の魅力にふれる総合学習 等

☆読書活動の充実で育む言語能力と豊かな情操 ・多読賞、必読書パーフェクト賞 ・「家読」の推進、読み聞かせ ・ビブリオバトルや読書月間 等

